

新潟・綾ノ前遺跡

符木簡・下駄・横櫛・曲物・漆器椀・大皿・箸状木製品などが検出されている。井戸は一〇六基確認されており、ほとんどが素掘り井戸である。

所在地 新潟県三条市大字月岡

調査期間 一九九二年(平4)六月～一二月

発掘機関 三条市教育委員会

調査担当者 金子正典

遺跡の種類 集落跡

遺跡の年代 九世紀～一四世紀

7 遺跡及び木簡出土遺構の概要

綾ノ前遺跡は東山丘陵から新潟平野にのびる緩やかな扇状地上に位置している。遺跡の時期は平安時代と中世の二時期が主体となつ

ている。遺構は柱穴・溝・

土坑・井戸などが確認され

ているが、出土遺物から見

てその大半は中世のものと

考えられる。遺物は、須恵

器・土師器・珠洲焼・土師

質土器・青磁・白磁などが

ある。また井戸から多種の

木製品が出土しており、呪



(三) 条

8 木簡の釈文・内容

(1) 「蘇民将来し_{〔子孫〕}〔孫宅也カ〕」

・「_{〔子孫〕}」

(171)×20×1 019

(2) 「蘇民将来し_{〔子孫〕}〔孫宅也〕」

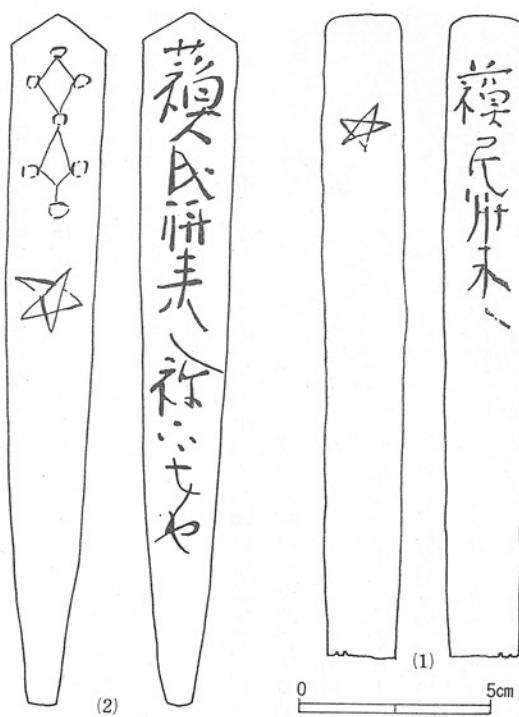
・「_{〔子孫〕}」

183×23×2 051

二点とも蘇民将来の呪符木簡である。時期を特定できる遺物は井戸からは伴出しなかつたが、遺跡から出土している珠洲焼等から一四世紀頃のものと推定される。形態は、(1)は頭部が方形、全体が長方形を呈する。(2)は上端が圭頭、下端を尖らせている。

なお、积文については国立歴史民俗博物館平川南氏のご教示を頂いた。

(金子正典)



卷頭言

木簡研究 第二二号

田中琢

一九八九年出土の木簡

概要 平城京跡 平城京左京二条四坊十一坪 薬師寺 西大寺 藤原宮跡 藤原京跡 山田寺跡 上之宮遺跡 飛鳥京跡 長岡京跡(1) 長岡京跡(2) 長岡京跡(3) 平安京左京三条三坊 十六町 平安京西市外町 平安京右京六条一坊十三町 平安京右京七条二坊十四町 久田美遺跡 大坂城跡(1) 大坂城跡(2) 大坂城跡(3) 上清滝遺跡 日置莊遺跡 上町遺跡 小曾根遺跡 森北町遺跡 但馬国分寺跡 砂入遺跡 嶋遺跡 山国・源ヶ坂遺跡 上滝野・宮ノ前遺跡 清洲城下町遺跡 川合遺跡八反田地区 多摩ニユータウン遺跡群(No.107遺跡) 西河原森ノ内遺跡 木部遺跡 虫生遺跡 筑摩佃遺跡 国分境遺跡 門田条里制跡 胆沢城跡 秋田城跡 辻遺跡 寺前遺跡 天神山遺跡 百間川原尾島遺跡 草戸千軒町遺跡 周防國府跡

一九七七年以前出土の木簡 (一一一)
平城宮跡 (第三五次)
森ノ内遺跡出土の木簡をめぐって
木簡類による和名抄地名の考察
—日本語学のたちばから—

山尾幸久

工藤力男
春名宏昭

価額 三八〇〇円 一五〇〇円

内資人考
彙報